

2020年度 豊小学校

豊小学校学びプラン

ゆとりある一日

たのしく学び

かしく育つ豊の子

1年間使いたいと思います。大切にしてください。



豊小学校では、確かな学力を身につけた子どもを育てるために「豊小学校学びプラン」をつくりました。学校全体で、そして家庭や地域と協力しながら取り組んでいきたいと考えています。

学校教育目標

たくましく 心豊かな 子どもの育成

☆自ら考え、学び続ける子ども（かしこく）

☆相手を敬い、思いやる子ども（なかよく）

☆自分の体を守り、鍛える子ども（たくましく）

学校

《基礎・基本を身につけさせるための授業の工夫と家庭学習の設定》

家庭

《楽しくかしこく学べる生活習慣の定着》

ゆとりある一日

（落ち着きのある生活）

- 早寝 早起き 朝ごはん
- あいさつの習慣
- 会話のある生活
- 学級集団づくり

たのしく学び合い

（学び合い高め合う学習）

- 教材研究の充実
- 学習展開と学び方の定着
- ノート指導の充実
- できる喜び知る楽しさ

かしこく育つ豊の子

（気がまえ・物がまえ）

- 学習の用具の準備
- 家庭学習の定着
- 学習時間のめやす
- 学習・遊び・読書などバランスのとれた生活サイクル

(落ち着いた生活)

1 早寝 早起 朝ごはん

学習の基礎は生活習慣づくりにはじまります。今年も「早寝 早起 朝ごはん」の習慣づくりに取り組みたいと思います。早く寝て、早く起きることによって、朝ごはんをゆっくりと食べ、トイレを済ませることができ、ゆとりを持って学校生活にむかうことができます。家庭での継続的な取り組みをお願いします。

2 親子の会話を大切に

「今日は月がきれいだね。」「シリアは、どこにあるの。」様々な会話が、子どもの学ぶ意欲を高めます。言葉の習得には、家庭での会話がとても大切です。「～だから、～なのよ。」「～になるから、～して欲しいな。」というように、理由をつけた会話を大切にしていきたいと思います。

親子で同じ本を読んで感想を話し合う活動や親子お弁当作りにも取り組みます。

3 気持ちよいあいさつで一日が始まる

学校では、毎年あいさつ運動に取り組んでいます。気持ちよい一日は、朝のあいさつから始まります。ご家庭でも「おはよう。」「気をつけてね。」「行ってらっしゃい。」気持ちよいあいさつで、子どもを学校に送り出していきたいと思います。

4 思いやりのある行動

廊下は静かに歩きましょう。右側通行をしましょう。授業をしている学級の近くでは静かにすごしましょう。ちょっとした思いやりや気づきが、行動に表れたときに暮らしやすくてのしい学校生活が、実現します。小笠原流礼法の基本にある「思いやり」の心を大切に、マナーやルールの守れる学校生活づくりを進めていきます。

5 学校では学級集団づくりの取り組み




係や当番活動を通して、自分たちの暮らしを自分たちでつくる取り組みを積極的に行います。学級集団の中で様々な体験をしながら、自分に気づき、まわりの人のよいところを認めていける児童を目指します。

(学び合い高め合う学習)

1 授業づくり

「自分の意見を持ち、友達の意見と比べながら、考えられる子どもの育成」を目指した授業づくりに取り組んでいきます。

子どもたちが自分から進んで学習に取り組み、自分の考えを発表し、友達の考えを聞きながら、自分の考えを高めていけるような授業づくりを目指します。

学 習 活 動	
つ か む	<ul style="list-style-type: none"> ○前回までの学習内容を復習します。 ○この時間の学習課題を確かめます。
考 え る	<ul style="list-style-type: none"> ○自分で課題について考えます。 <p>これまで学習したことをもとにして自分の考えを書こう。</p> 
学 び 合 う ま と め る	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを出し合い、意見を聞き合います。 ○「となりの人と・班の友達と・学級全体で」など、学習の形態は、学習内容や学年によって変わります。 ○課題について結果と結論を確かめます。 ○学習の成果を確かめます。 <p>今日学習したことは、きちんとできるようにしておかないとね。</p>  

自分の考えに、間違いはありません。一人ひとりの考えを出し合いながら、学習する力を育てていきたいと思えます。正解を求めるのではなく、考えることを大切にしていきます。

いろいろな考え方があることを知ります。どうしてそう考えたのか理由が話せるようになることを目指します。

私はこう思います。理由は～です。

毎時間、分かったことや確かになったことを確認します。「できた。」「分かった。」を大切にする授業づくりを目指しています。

学習目標や内容によって、授業の流れが異なる場合もありますが、授業の基本をこのように考えています。

子どもたち一人ひとりが、自分の考えを持てるような学習課題を設定することを目指しています。そのためには、これまでの授業内容から答えや結論が導き出せるような課題によって授業が構成されていく必要があります。

教師が、授業を通して研究していく内容です。

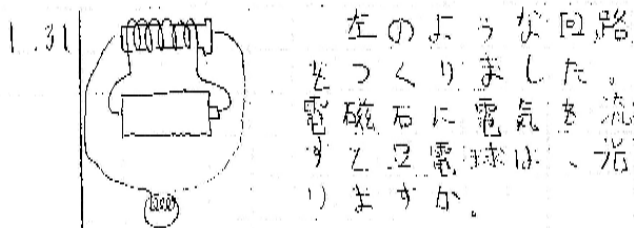
2 ノートづくり

書くことによって自分の考えをはっきりさせたり、まとめたりすることができます。また、書きながら考えが広がったり深まったりすることもあります。「考える力」をより確かにするために書く活動を大切にしていきたいと思います。

各教科の学習では、ノートに「自分の考え」「友達の考え」「学習して分かったこと」「学習内容」などを書くように指導します。ノートに学習したことが記録され、学習の積み重ねがうまれるようにします。

- ・日付、教科書のページを書くことで学習のことを振り返りやすくします。
- ・学習課題をはっきりと書き、学習のめあてを確認します。

- ・自分の考えは、文や図、式などで表します。
- ・書いたことをもとにして自分の考えを説明できるようにしていきたいと考えています。

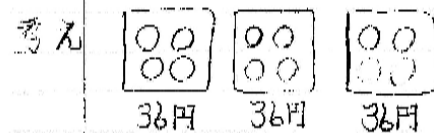


左のような回路をつくりました。電磁石に電気を流すと豆電球は光りますか。

自分
考え
電磁石に電気を流すと豆電球は光るか。理由は、豆電球は電気を流すと光ります。電磁石も磁石と豆電球が光るか。磁石と豆電球が光るか。磁石と豆電球が光るか。磁石と豆電球が光るか。

2.3
電磁石に電流を流しても、鉄芯に電流が流れないのはなぜか。

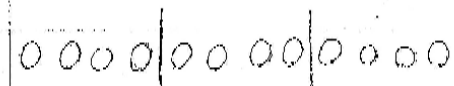
1.30
初めて文章問題をとこう。
問題 ドーナツが1ふくろ4こ入って36円で売っています。このドーナツはこ分の代金はいくらですか。



$$12 \div 4 = 3$$

$$\text{式 } 36 \times 3 = 108$$

答え 108円



例3は3個の? 12個分?

$$12 \div 4 = 3 \quad 36 \div 4 = 9$$

$$36 \times 3 = 108 \quad 9 \times 12 = 108$$

(物がまえ 気がまえ)

1 物がまえ

学習に集中し、効果的に学ぶためには、学習に使うものをきちんと準備しておくことがとても大切です。学習用具を含めた学習環境が、子どもたちの学力の向上に大きくつながります。いつも親子で確認していただきたいと思ひます。

	1・2年	3・4年	5・6年
筆箱	2Bの鉛筆5本以上 赤色鉛筆 油性ペン(黒) 白い消しゴム 15 cm程度の定規(2年)	2Bの鉛筆5本以上 赤色鉛筆または赤ペン 油性ペン(黒) 白い消しゴム 15 cm程度の定規	2B~Bの鉛筆5本以上 赤色鉛筆または赤ペン 油性ペン(黒) 白い消しゴム 15 cm程度の定規
道具箱	のり(液状) セロテープ はさみ クーピーとクレヨン 三角定規(2年で一括購入)	のり(液状) 三角定規 セロテープ はさみ 色鉛筆・クーピー コンパス(3年で一括購入) 分度器(4年で一括購入)	のり 三角定規 セロテープ はさみ 色鉛筆・クーピー コンパス 分度器
ノート	1年 算数14ます 国語10ます 2年 算数17ます 国語12ます	3年 算数10mm方眼 (十字リーダー入り) 国語15ます 4年 算数10mm方眼 (十字リーダー入り) 国語10・12mm方眼	5・6年 算数10mm方眼 (十字リーダー入り) 国語10mm方眼 (中学校に向けた指導)
音楽	鍵盤ハーモニカ	リコーダー 鍵盤ハーモニカ	リコーダー 鍵盤ハーモニカ

筆入れの中を確認してください。

- ① 鉛筆5~6本程度(1~4年2B程度 5・6年2BからB程度)
三角形(1~3年生向き)・六角形,らせん軸など,持ちやすく,書きやすい物が望ましいです。飾り付きやバトル鉛筆などは集中を妨げることがあります。
シャープペンシルの使用は禁止します。
- ② 消しゴム1個
良く消え,無臭で白い直方体の物が望ましいです。
- ② 赤色鉛筆 赤ペン
大切なところに印を付けたり,丸付けをしたりするのに使ひます。高学年ではラインマーカー等も使ひます。担任からの指示があります。
- ④ 黒の記名用油性ペン
- ⑤ 15cm程度の定規
2年生以上の学年が,使ひます。

その他

- ① 下敷き
授業中に見入ってしまうようなものはさけてください。なるべく刺激の少ない無地のものがよいと思ひます。
 - ② A4サイズの連絡袋(通信等を入れます)
 - ③ 連絡帳(全ての学年で使ひます。)
- ※ 全ての学用品に名前を書いてください。
※ 不明な点は担任におたずねください。



2 気がまへの第一歩「家庭学習」

毎日こつこつ 家でも学習

子どもの学力を向上させるためには、家庭学習の定着が欠かせません。家庭学習の行い方について学校と家庭が、同じ考え方で同じ歩調で取り組んでいけるように「家庭学習の具体的な方法」(7ページ以降)を作成しました。

家庭学習のねらいや取り組ませるときのポイントなどをお伝えしたいと思います。

家庭学習の目標

- 自分から進んで学習に取り組む習慣を身につける。(学習習慣の確立)
- 自分に必要な予習や復習、補習を行えるようにする。(基礎学力の定着)
- 学習内容について親子で話したり、考えたりする。(学校と家庭の連携)

家庭学習は、学ぶ意欲を引き出す環境づくりからスタート

- 机の上をきれいにし、学習用具だけを出しておくようにしてください。
- 国語辞典・漢字辞典・図鑑・地図・地球儀など、普段から活用できるようにしてあると便利です。
- 学習するときは、テレビや音楽を止めてください。「ながら学習」は、学ぶ内容が身に付きません。落ち着いて学習できる環境が大切です。
- 姿勢を正しく、文字や数字をていねいに書く習慣が大切です。
- 子どもの頑張りを認め、励ましてあげてください。

(できたことから子どもをほめて、自信とやる気を育てましょう。)



家庭学習がんばろう週間

子どもの家庭学習について、学校と家庭で連携しながら取り組んでいきます。1年間に6回、それぞれテーマを決めて1週間取り組んでいきます。取り組んだことを確認し、子どもへの励ましの一言をお願いします。
(今年の予定です)

第1回 5月25日(月)から 5月31日(日)明日の学習用具を準備する習慣を身につけよう

第2回 6月22日(月)から 6月28日(日)早寝・早起き・朝ご飯・歯みがきをしっかりと
家庭学習を計画的に取り組もう

第3回 8月31日(月)から 9月 4日(日)生活のリズムをとりもどそう

第4回 10月5日(月)から 10月11日(日)家庭学習のリズムをつくろう

第5回 11月9日(月)から 11月15日(日)テレビとゲームを短くしてチャレンジしよう

第6回 2月8日(月)から 2月14日(日)算数学習に取り組もう

3 「家庭学習」の具体的な方法

何をしたらいいのかな

- ①宿題をきちんと終わらせるのが基本です。
- ②3年生以上になったら、その日の復習をしましょう。予習もできるといいですね。
- ③明日の学習準備を最後にします。



学習時間のめやす

学年×10分以上

規則正しい生活習慣を身につけることも大切です。家庭学習は、夕食前に終われるとよいでしょう。

(それぞれのご家庭に合わせた学習時間が大切です。無理がないように話し合ってください。)

① 低学年の具体的な方法

《 学習習慣を身につける・勉強が楽しいと思えるように 》

☆習慣づけの1年生

☆習慣が定着し始める2年生

基礎的・基本的な学習内容が多く、学習に対して一番やる気のあるときです。



家庭学習の内容

- ・宿題(最後までていねいに)
- ・授業で学習したことの復習

学習時間のめやす

1年生 : 10分以上

2年生 : 20分以上

- 学習方法が分かるようになるまでは、助言してあげられるように近くにいてください。
- となりにつきっきりではなく、子どもが無理なく取り組める量を示してあげてください。
- 終わった後、丸つけなどを行い、ほめたり励ましたりしてあげることで意欲が高まります。

こんな学習をしてみよう！

【自主学習の取り組み例】

国語

- ・教科書の音読や視写
- ・ひらがな・カタカナ・漢字の練習
- ・言葉あつめ
- ・絵日記や日記を書く
- ・いろいろな本をたくさん読む
(家の人に読んでもらう)



算数

- ・たし算やひき算の計算練習
- ・九九の暗唱
- ・かけ算の計算練習
- ・時計を読む, 時間を考える
- ・かさ・長さ・広さを考える
- ・大きな数の学習
- ・文章問題に取り組む



その他

- ・見つけた植物・生き物の名前を調べる



② 中学年の具体的な方法

《 計算や漢字など基本的な学習に取り組む意欲を持たせる 》

☆学習習慣が定着する3年生

☆決められたことは自分から学べるようになる4年生

抽象的思考が必要な学習内容が増え、学習に難しさを感じ、戸惑いや苦手意識をもつ子どもが出てくるときです。

家庭学習の内容

- ・宿題(最後までていねいに)
- ・授業で学習したことの復習
- ・その他, 興味・関心のあることを調べる

学習時間のめやす

3年生 : 30分以上

4年生 : 40分以上

○つきっきりで教える必要はありませんが、学習内容や子どもの状況を知っておく必要はあります。例えば、テスト前の勉強では、つまずきそうなところはどこなのかを一緒に考えてください。

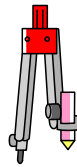
○学習を継続して自主的に取り組めるようになるために、努力していることをほめ、励まし、温かい助言をしてあげてください。

こんな学習をしてみよう!

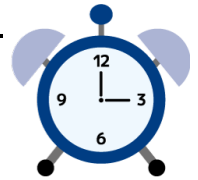
【自主学習の取り組み例】

国語

- ・教科書の音読や全文視写
- ・漢字・ローマ字の練習, 短文づくり
- ・国語辞典で意味調べ
- ・日記, 作文, 感想文, 観察文を書く
- ・いろいろな本をたくさん読む



算数



- ・加減乗除の計算練習
- ・分数や小数の練習問題
- ・時刻と時間の問題
- ・長さ・かさ・重さ・面積の問題
- ・大きな数の問題
- ・文章問題, 問題づくり
- ・コンパスや三角定規を使って作図
- ・図形, 分度器を使う問題

その他

- ・その日の授業で学んだことをノートにまとめる
- ・植物・生き物・月や星の観察
- ・地図記号や都道府県の名前を覚える



③ 高学年の具体的な方法

《 親に言われなくても意欲的に学習する気持ちを持たせる 》



☆進んで学習に取り組める5年生

☆自分の学ぶことを明確にできる6年生

学習内容が増え、論理的・抽象的思考をともなう学習が増えます。筋道を立てて考える力や広い視野で物事を見る力も必要になります。

家庭学習の内容

- ・宿題(最後までていねいに)
- ・授業で学習したことの復習
- ・授業で学習する前の予習
- ・その他, 興味・関心のあることを調べる

学習時間のめやす

5年生 : 50分以上

6年生 : 60分以上

○自主的な学習ができるようになるために、子どもと話し合い、学習する時間帯を決めてください。計画に無理がないか、計画通り進められているかを確認しながら声をかけてほしいと思います。

○自信をもって取り組む気持ちを育てるために、目標を達成する過程を一緒に振り返り、努力したことに対し、ほめたり、励ましたりしてください。

こんな学習をしてみよう!

【自主学習の取り組み例】

国語

- ・教科書の音読や全文視写
- ・漢字の練習, 短文づくり
- ・国語辞典・漢字辞典を使う
- ・日記, 作文を書く
- ・ニュースや新聞を見て, 感想や意見をまとめる
- ・いろいろな本をたくさん読む



算数

- ・分数や小数の加減乗除の計算練習
- ・文章問題, 問題づくり
- ・文字式(xやyを使った式)
- ・割合・百分率の問題
- ・図形の作図・面積・体積
- ・発展問題に取り組む
- ・テストに向けた学習と間違い直し



その他

- ・その日の授業で学んだことをまとめる
- ・植物・生き物・月や星の観察
- ・都道府県名や県庁所在地を覚える